

子どもの「やってみたい!」を応援する ガクトまっもとプロジェクト



松本らしいカタチで
部活動の「地域クラブ活動への移行」
を実現しよう





はじめに

- ◆ **中学校における部活動**は、これまで、子どもたちが学校という身近な場所でスポーツや文化活動に触れ、競技力や技術を向上させるとともに、達成感や連帯感を育む活動として、長年、**日本独自のシステムとして定着**してきました。
- ◆しかし、**少子化に伴う活動の停滞**や、**競技経験のない教員**が指導を担うなど、これまでのシステムが機能しなくなりつつあり、近年、抜本的な**改革が必要**となっています。
- ◆松本市では、この改革をチャンスととらえ、子どもたちが**自分のやりたい活動**に自分らしく取り組めるような**多様性に満ちた環境**を整えたいと考えています。
- ◆松本市教育大綱「子どもが主人公 学都松本のシンカ」（令和4年2月策定）では、「**子どもを主人公とし、その学びを地域社会全体で支えること**」を理念に掲げています。この理念に基づく地域のスポーツ・文化活動の環境を市民の皆さんとともに整え、松本らしいカタチで部活動の「**地域クラブ活動への移行**」を進めていきたいと思ひます。



部活動の「地域クラブ活動への移行」をめぐる声

地域移行？

聞いたことはあるけど…
よくわからない！

部活動はなくなって、
習い事をするってことでしょ！
え～、お金かかる。

今、部活動できてるのに、
移行する必要あるの？

地域移行って、先生が、
ラクをしたいんでしょ！

部活動の「地域クラブ活動への移行」とは？

当該校の施設で当該校の教員が指導する活動
(学校教育の一環 ただし教育課程外)



地域の多様な主体(競技団体、地域団体、個人、兼職兼業の教職員など)が、地域の様々な施設(学校施設を含む)で行う多様な活動

(学校と連携して行う地域クラブ活動)

※法律上は社会教育、スポーツ・文化芸術

部活動の現状（子どもの視点から）

バレーボールに入部したいけれど、女子の部活動しかない。
軟式野球やりたいけれど、部活動がない。



やりたい種目は、私の
中学校にない

オリンピック種目の「空手」
「スケートボード」「ボルダリング」
「ブレイクダンス」もやりたい。



部活動にない種目にも
挑戦してみたい！

部活動の現状（子どもの視点から）

休日は他の種目をしたい
／休日は休みたい



スポーツが苦手でもちょっと
試してみたい。楽しみながら
ゆるっとやりたい。



経験のない中学校の先生でなく、
専門的な先生の指導で、もっと
本格的にやってみたい。



部活動の現状

このように子どもたちにもそれぞれ多様なニーズがあり子どもを主役とする活動が望ましいのですが…



部活動の現状

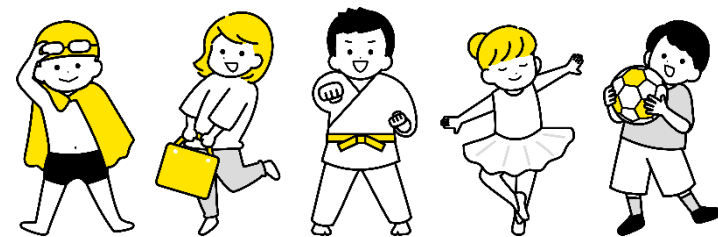
実際には、望ましいスポーツ・文化環境とは言えない現状



中学生、高校生の大半が加入する日本の部活動のような学校での課外活動は、海外ではあまり例がないといわれている。

海外に目を向けると・・・

ドイツ



ドイツでは学校教育の一環としての部活動は原則行われていない。青少年のスポーツ活動の核は、地域のスポーツフェラインと呼ばれるスポーツクラブ法人である。

一例としては、40種類のスポーツが行われ、会員は自分がやりたいスポーツを登録し会費を払うことでスポーツを楽しめる。子ども向けの体操教室のようなものから社交ダンスや健康スポーツなど高齢者向けのスポーツもあり会員層も幅広く、学齢期の子どもだけでなく、大人になってもスポーツを楽しんでいる。

アメリカ



学校で放課後や休日に生徒が教員の指導により、1年中活動することはなく、シーズン制により、複数の競技を行っている。

例：春夏 野球、陸上 秋冬 アメリカンフットボール、バスケットボール

日本の他自治体の取組事例（渋谷区）を見ると・・・

シブヤ「部活動改革」プロジェクト

渋谷区では、**生徒のニーズに応える部活動の設置**および**学校の働き方改革**を見据えた部活動の実施を目的として、渋谷区ならではの取り組みとして、シブヤ「部活動改革」プロジェクトを行っている。また、その仕組みを推進する体制として、令和3年10月、新たに「**一般社団法人渋谷ユナイテッド**」を行政が設立し、活動を行っている。



一般社団法人渋谷ユナイテッド

設立日：令和3年10月8日

令和3年度実施事業 区立中学校部活動支援（試行実施）

1. 生徒のニーズに応じた部活動の設置
2. チーム編成が困難な種目の合同化、地域化
3. 顧問を担う教員の負担軽減を図り、適切な教育体制を構築



○特徴として、学校単位ではなく、『渋谷区全域を地域』として捉え、渋谷ユナイテッドが総合的な受け皿を担う。

ボランティアの指導者だけでなく、民間企業やプロの人材を含めて部活動の指導を行っていくことを目指している

○学校の働き方改革を踏まえた部活動改革

区にゆかりがある企業・団体の協力を得て、9種目の部活動において生徒への技術指導にあたっている。

顧問業務については、新たに部活動支援に実績のあるリーフラス（株）などと連携して「部活動マネージャー」という人材を配置し、教師の負担とならないように進めている。

種目	会場	専門指導員	頻度	曜日	時間
サッカー	渋谷本町学園中学校	FCトリプレッタ	週1回程度	土	9:00-11:00 または 14:00-16:00
ボウリング	笹塚ボウル	渋谷区ボウリング連盟	週1回程度	土	8:00-10:00
ダンス	上原中学校	(株)LDH JAPAN、CyberAgent Legit	週1回程度	土	14:00-16:00
パラスポーツ (ポッチャ)	鉢山中学校	日本ポッチャ協会	月1回程度	土 <small>11・12月に限り水</small>	14:00-16:00 <small>水は16:00-18:00</small>
将棋	千駄谷小学校	日本将棋連盟	週1回程度	土	14:00-16:00
パソコン	原宿外苑中学校	(株)ミクシィ、ユナイテッド(株)、 (株)フロンティアインターナショナル	週1回程度	土	14:00-16:00
硬式テニス	二子玉川区民運動施設	(株)KD PLANNING	月1回程度	土	14:00-16:00
フェンシング	地域交流センター代々木の杜	日本フェンシング協会	月1回程度	土	14:00-16:00
女子ラグビー	宮下公園	東京山九フェニックス	月1回程度	土	14:00-16:00



国の提言から

現在、多くの地域において、少子化の進展により学校の運動部活動は持続可能ではないという危機感が共有されてきている。また、社会全体で働き方改革が進められている中、学校の働き方改革を進めていかなければならないという機運も醸成されている。運動部活動の在り方の抜本的な改革を進める上では、今が最大のチャンスであり、また今後の少子化の急速な進展などを考えると、最後のチャンスであるとも言える。

国の提言から

- まずは、休日の部活動から段階的に地域クラブ活動へ移行していくことを基本とする。

- 改革推進期間

(令和5年度の開始から令和7年度末を目途)

国の予算化を受けて市町村が取り組んでいく

休日の部活動の地域クラブ活動への移行に向けた
改革推進期間

進捗状況を検証し、更に改革

R5

R6

R7

R8

現行の部活動を続けることで予想される未来

2つの問題

1. 子どもに関すること
2. 教員に関すること

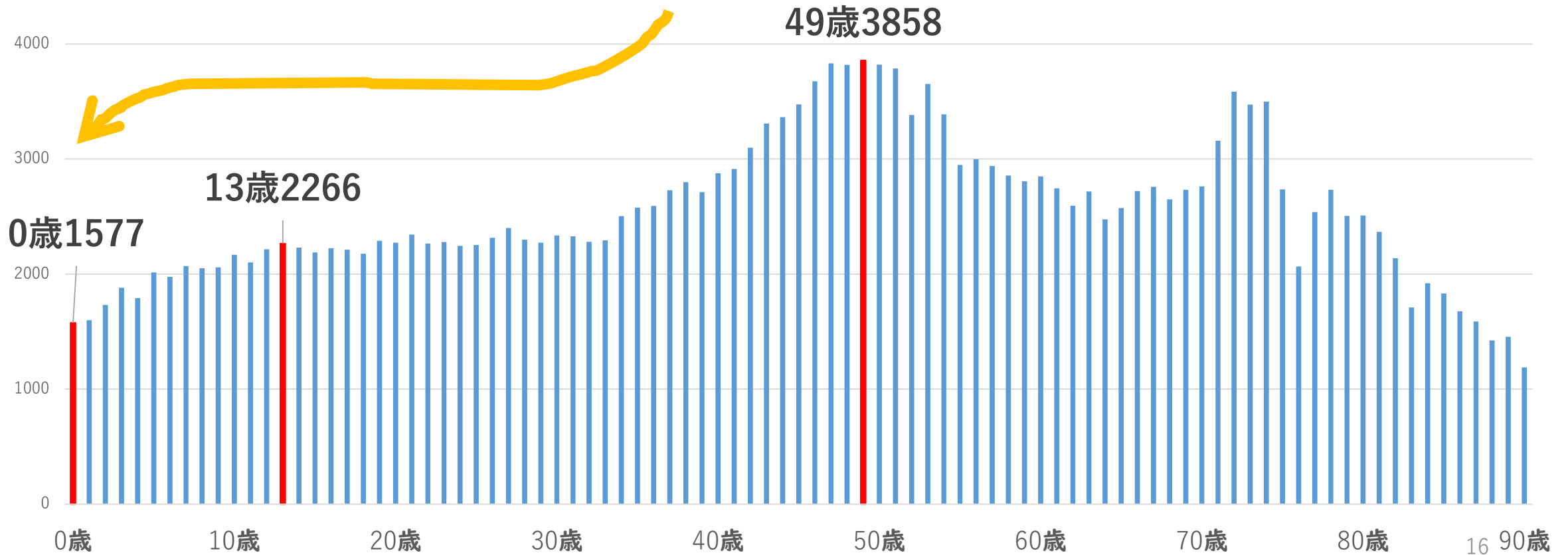
現行の部活動を続けることで予想される未来

2つの問題

1. 子どもに関すること
2. 教員に関すること

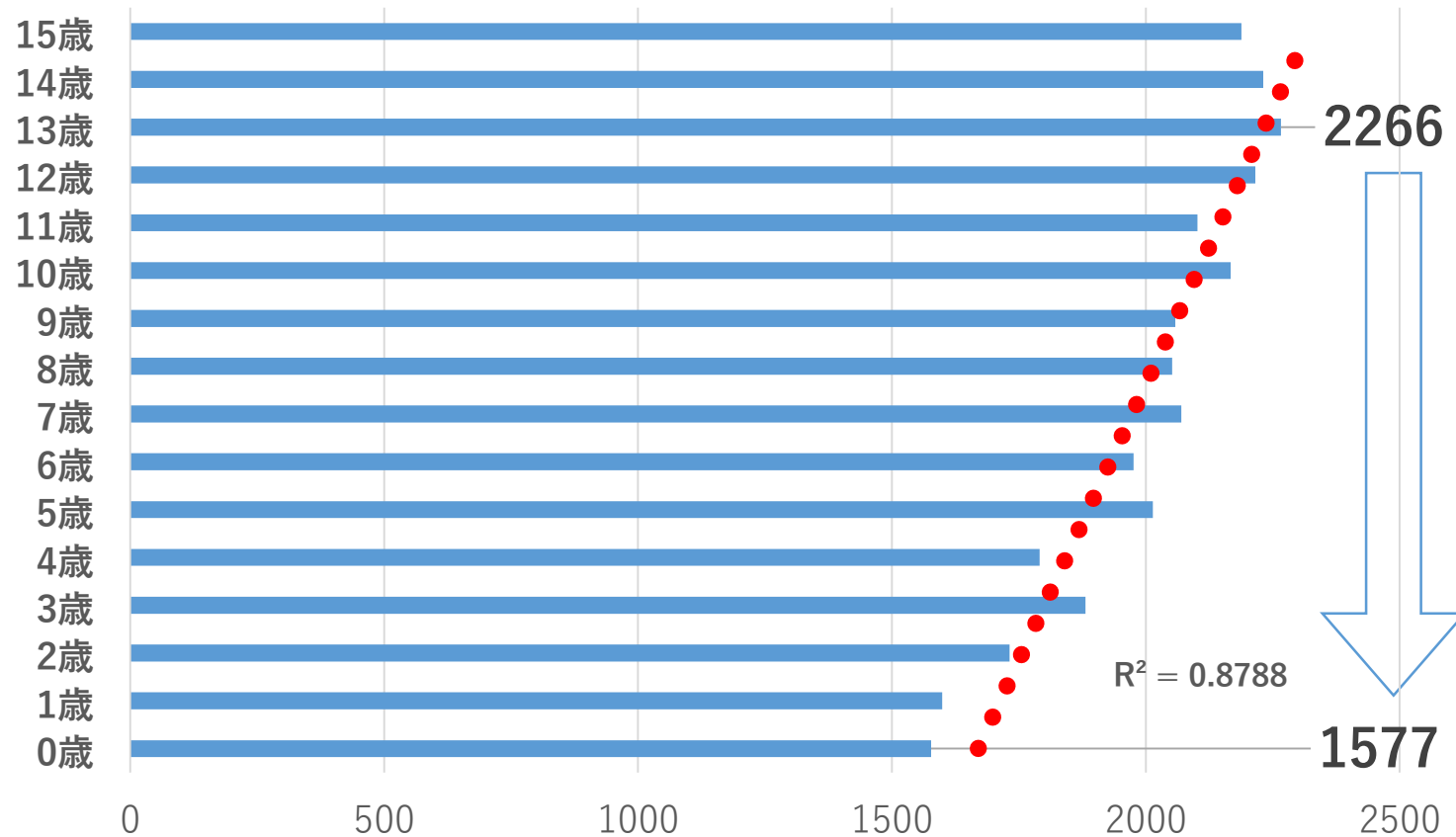
子どもに関すること

松本市の人口からみる少子化の現状(2022年4月)



子どもに関すること

松本市における15歳以下人口からみる少子化の現状(2022年4月)



689名減少

子どもに関すること

現行の部活動のままでは、いずれ、

- 存続しても、少ない人数での低調な活動に
- 生徒数の減少に伴い、教員数は減少する

→ より多くの部活動の廃部や、
廃部の危機に追い込まれる。

現行の部活動を続けることで予想される未来

2つの問題

1. 子どもに関すること

2. 教員に関すること

(1) 専門ではない部活動の担当

(2) 働き方

教員に関すること

松本市教育委員会に寄せられるご意見

「今年の顧問は、専門ではない」

「もっと指導してくれる先生をつけてほしい」

→しかし現状は、6割の教員が担当種目の経験がない

担当種目の経験あり	担当種目の経験なし	
39%	61%	
	担当以外の種目経験 46%	運動経験なし 15%

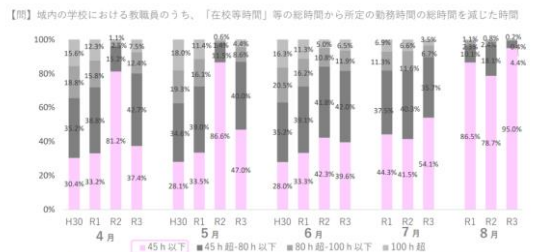
教員の働き方

上限の目安時間

- ① 1か月在校等時間…超過勤務45時間以内
- ② 1年間在校等時間…超過勤務360時間以内

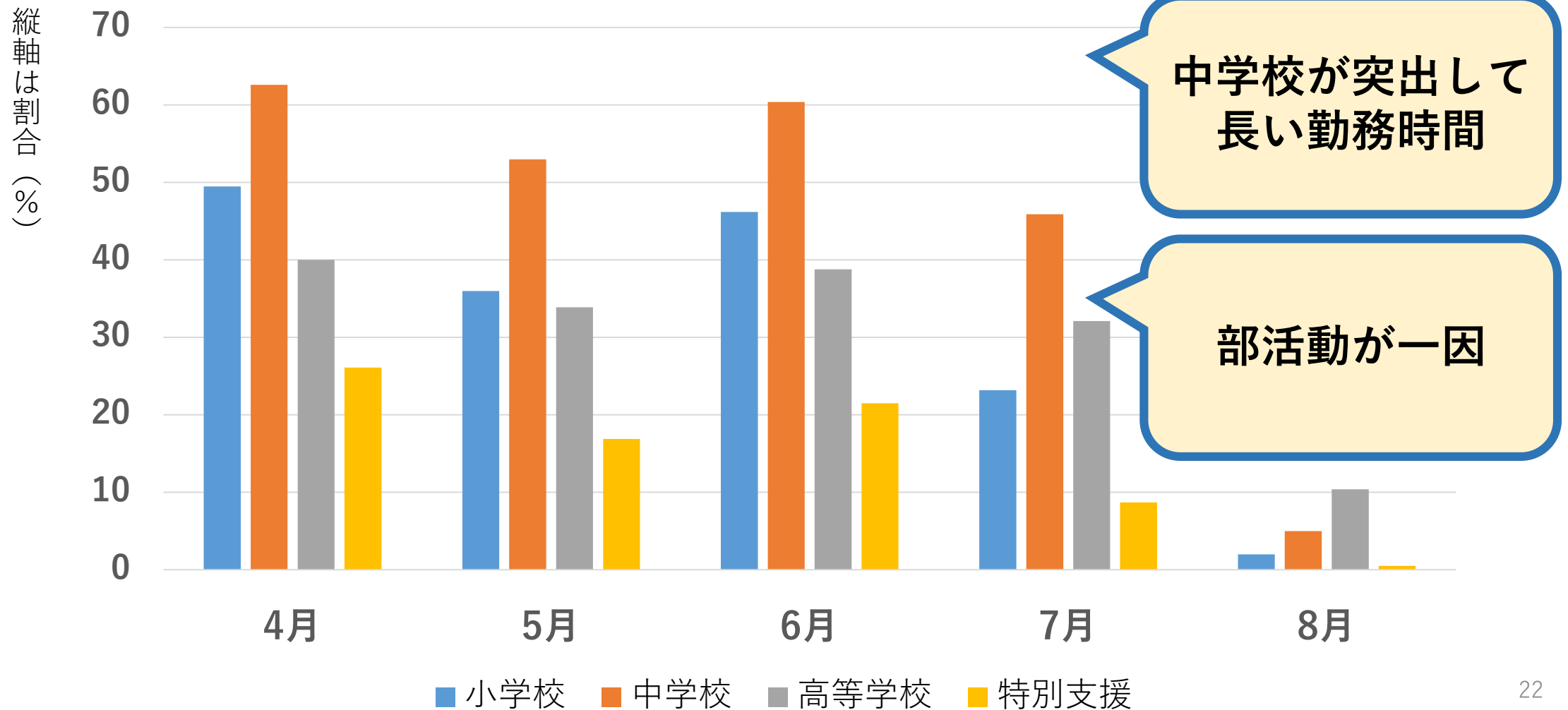
令和3年度における 時間外勤務 (45時間超) の月別推移 (4月-8月)

中学校 「時間外勤務月45時間以下」の割合は、令和元年度と比較し、約4～14%程度増加(4月:4.2%増、5月:13.5%増、6月:6.3%増、7月:9.8%増、8月:8.5%増)。
令和2年4月～5月については、全国的に多くの学校が臨時休業を実施



令和3年度教育委員会における学校の働き方改革のための取組
状況調査結果 | 文部科学省 を参考に作成

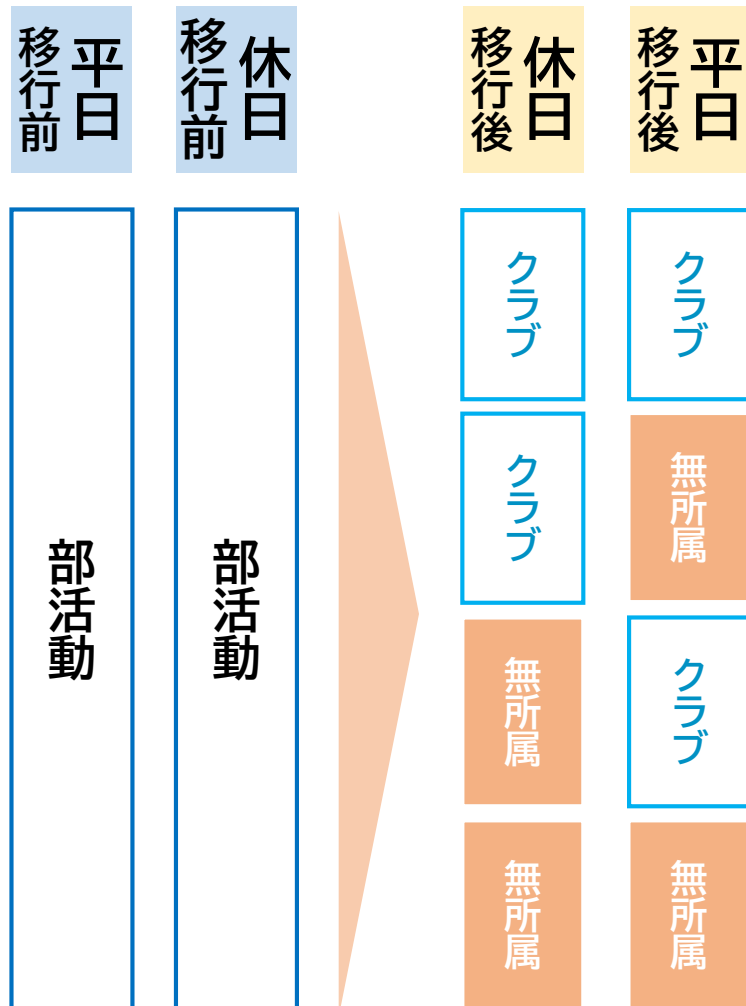
令和3年度 時間外勤務（45時間超）の月別推移（4-8月）



教員の働き方

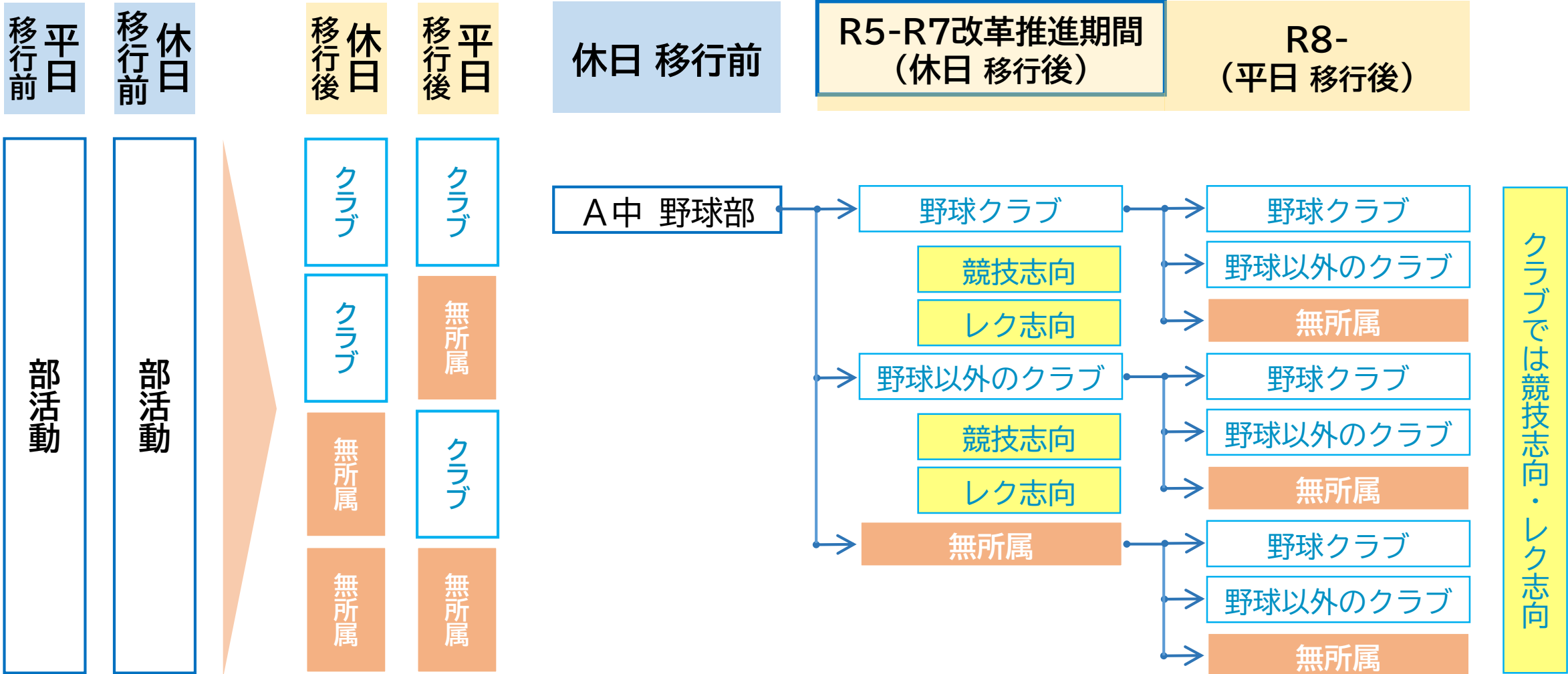
1. 教員は、時間外手当を支給されない。
2. 時間外手当の代わりに、教員調整額が支給される。
3. 教員調整額は、給料月額 $の4\%$ を基準とする。
4. 教員調整額 月8,000円程度
5. 休日は…
 - 3時間以上で、日額2,700円
 - 大会運営では、6時に集合し、19時に解散することも。

永続的に子どもを支援できるシステム（例） 【主に子どもの視点】



ここで
クラブとは、野球やスイミング、ピアノや書道のような習い事などの既存の団体だけでなく、今後新たに創設されるスポーツや文化の団体（「地域クラブ活動」という。）を想定しています。

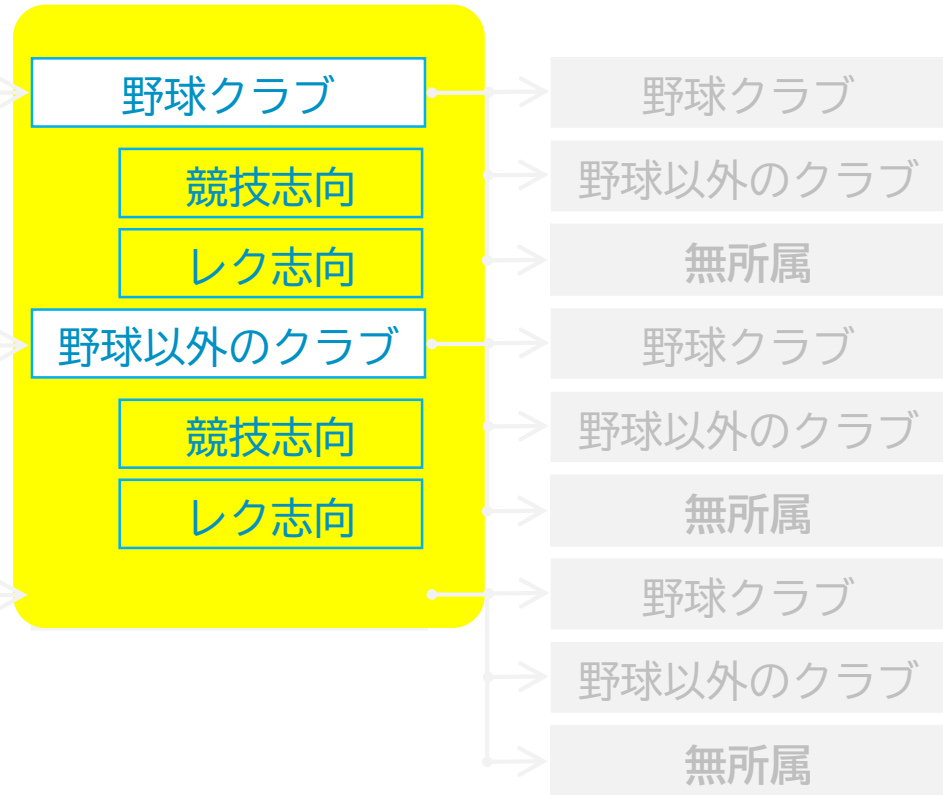
永続的に子どもを支援できるシステム（例） 【主に子どもの視点】



永続的に子どもを支援できるシステム（例） 【主に子どもの視点】



1. 松本市全域にある地域クラブ活動、他地区との合同の地域クラブ活動から選択可能
2. 1つの種目だけでなく、他の種目も選択可能
3. たとえば、野球とプログラミングなどに取り組むことができる



クラブでは競技志向・レク志向

永続的に子どもを支援できるシステム 【主に教員の視点】

平日

休日

大手中学校
種目：野球部
顧問：山田先生

「競技志向」のA野球クラブ
に所属して指導

「レク志向」のB野球クラブに
所属して指導

指導をやめる

兼職兼業による
適正な指導報酬

県教委が
指針を検討

永続的に子どもを支援できるシステム 【主に教員の視点】

松本市教育委員会に寄せられるご意見

「休日は団体名を変えるだけでしょ!!」

平日

大手中学校

野球

顧問 山田先生



休日

大手クラブ

野球

指導者 山田先生

- 異動を前提とする教員が立ち上げる地域クラブ活動は、当面はできるかもしれないが、単独の指導者では維持できない可能性
- 当該校の生徒だけではなく、他の学校の生徒も加入

永続的に子どもを支援できるシステム 【主に教員の視点】

松本市教育委員会に寄せられるご意見

「休日は団体名を変えるだけでしょ!!」

平日

大手中学校

野球

顧問 山田先生

≠

休日

大手クラブ

野球

指導者 山田先生

- 異動を前提とする教員が立ち上げる地域クラブ活動は、当面はできるかもしれないが、単独の指導者では維持できない可能性
- 当該校の生徒だけではなく、他の学校の生徒も加入

永続的に子どもを支援できるシステム 【主に保護者の視点】

- 部活動の種目によっては、廃部の危機が迫る。
- 地域クラブ活動（習い事）に通うことで、子どもの「やってみたい」という思いを叶えられる。
- 中学校区の近隣に、「やってみたい」地域クラブ活動があるとは限らない。
 - ①活動場所までの送迎が必要になる可能性
 - ②指導料の負担が必要になる可能性

松本市としての取組み

- 松本市として制度を整えるためのニーズ調査
児童、生徒、保護者、教員へのアンケートを実施済み
- 部活動の地域クラブ活動への移行に関する説明
希望する学校への説明と課題点の集約

松本市としての取組み

R5～
協議会

スポーツ文化活動運営委員会連絡協議会

部活動の地域移行関係者準備連絡会議

休日部活動の地域移行プロジェクトチーム会議

この会を通じて、代表教員に対して説明。
今まで以上に、関連課との連携調整が不可欠。

スポーツ推進課が主催。
スポーツ環境の整備に特化。
校長会・中体連関係者は委員ではない。文化系は含まれない。

松本市としての取組み

松本市教育委員会を中心に文化観光部と連携して推進

1. 課題点の整理
2. 協議会の設置
3. 進捗管理
4. モデルケースの実践

松本市として目指す方向性

1. 休日の移行のみならず、将来的な平日の移行も今から見据える。
2. 広い市域であっても、できる限り、子どもの「やってみたい」と思う活動を選択できる環境を整備する。
3. 地域クラブ活動へ移行しても、松本市の指針に沿った適正な活動を前提とする。

「松本市中学生期のスポーツ活動指針」

「松本市中学生期の文化活動指針」



子どもの「やってみたい!」を応援する ガクトまっもとプロジェクト



松本らしいカタチで
部活動の「地域クラブ活動への移行」
を実現しよう

